

# 地域・家庭とつながり、学校を「明るく」・「元気に」・「美しく」!

## 勝山市立成器西小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	15回(のべ)15日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	84人
授業ボランティア(含:低ボラ)	25人
登下校支援ボランティア	毎日 約20人
その他(読み聞かせ活動)	月3回 毎月15人

#### (3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

#### 具体的活動内容

- 1 花の栽培を通して、地域交流を深める活動
- 2 自然体験で豊かな心を育てる活動
- 3 「西の子左義長まつり」で、地域・家庭とつながる活動

#### 1 花の栽培を通して、地域交流を深める活動

・本校の前庭には、大きく4面の花壇が配置されている。この花壇の世話は、おもにアニマル・フラワー委員会が行っている。縦割り班の活動である。毎日、うさぎの飼育とともに花壇の栽培を行ない、苗植え、水やり、花殻つみ、草取りなどを継続的に行っている。

・花壇のデザインを決める所から一貫した栽培とそれを教育に取り込んだ「心の教育の推進」が認められ、本年度は、フラワーブラボーコンクール秋花壇で「大賞」を受賞することも出来て、さらに学校が「明るく・美しく」なっている。

・この栽培活動は、各学年でも取り組まれている。4年生は、中庭で花を育て、小さな花瓶に花を生けて、手洗い場・教室・トイレに飾る活動を続けた。また、花を花束にして交番や福祉施設に届ける「花届け隊」活動をした。すると、交番のおまわりさんが、わざわざ学校までお礼に来られるなど、地域との心の交流が広がった。



#### 2 自然体験で豊かな心を育てる活動

・今年度は、県に事業をいただき、2泊3日の自然体験学習を実施することが出来た。六呂師の青少年自然の森で、森探検活動から始まり、野外炊飯、1日がかりの登山、キャンプファイヤ、魚つかまえ・さばきなど、盛りだくさんの体験活動を実施した。

・夏休み期間ということもあり、教職員の協力をもたくさん得ることが出来て、安全・安心な体制で実施出来た。

・中でも森探検活動は、森にいる昆虫などを探したり、森の木を使った遊びをしたり、森の中で、ピザ作りをしたりと日頃出来ない活動がたくさんあった。指導者が、保護者と学生ボランティアということもあり、地域交流を図るのに適した活動であった。

・テレビやゲームなどのない人と人とのふれあいの活動により、心も体も元気になるようだった。



### 3 「西の子左義長まつり」で、地域・家庭とつながる活動

・「西の子左義長まつり」は、本校が10年間ほど取り組んでいる伝統行事である。勝山市の伝統行事の「左義長まつり」を校区として取り組んでいるが、地区によっては、その活動がない地区もある。そこで、伝統的文化を継承することも含め、総合の時間、生活科、特別活動の時間を活用して、この行事を行っている。

・今年度は、午前の部を「西の子学習発表会」として、学年毎の学習発表会を実施した。午後の部は、地域・保護者の演奏を入れて、「西の子左義長まつり」を実施した。



・6年生は、本番の「左義長まつり」のように襦袢姿で、手作りの笛も演奏した。



・5年生以下は、服装は自由服だが、「ういた」様子は6年生に負けない。



・太鼓の練習は、学年2回ずつ実施。地域の皆さんが、教えに来てくださり、見る間に上達した。



・1、2年生が短冊飾り、5年生が習字、3年生は作り物、4年生は絵行灯を会場に展示した。保護者は、多数参観された。

なお、次年度は学習発表会を11月に、左義長まつりを2月に実施する予定である。

#### 成果と課題

- 1 教育活動のあらゆる場面を通して、豊かな「心の教育」を目指して実践している。「動植物とふれあう」「人と人とがふれあう」「伝統文化を継承する」など多面的なつながりを作りながら、「心の教育」の育成にさらに取り組んでいきたい。
- 2 地域や保護者の協力をいただいているが、十分な相互交流になっているか、まだ疑問の残る所もある。次年度については、第3回地域・学校協議会において、委員の方々から、西の子左義長まつりにもちつきなどの協力をしたいという申し出もあった。さらに連携を深めながら、行事等にも工夫・改善を図っていきたい。